



！みんなで体験！

探究の学びワークショップ

With 松本青年会議所



なぜ「学び」を考えるのか？



ワークのながれ

hello



1

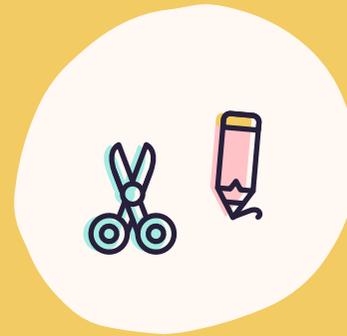
check-in



2

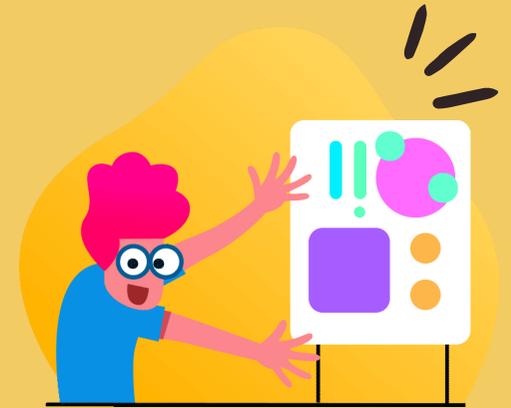
情報収集

anaぎゅ



3

仮説作り



4

表現
(発表)

探究的な学びの
「さわり」を
短時間で体験します



ワークのテーマ

松本の〇〇、

2030年

どうなってる？

どうなってほしい？

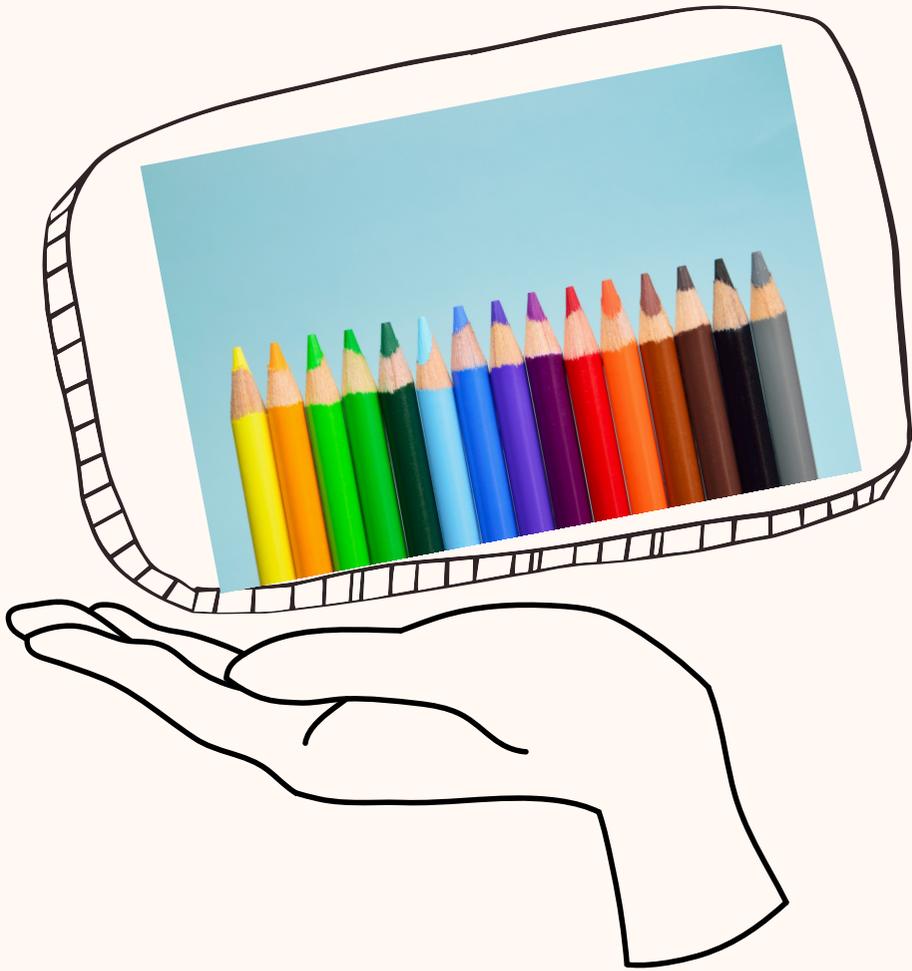
今日の成果物イメージ

- ・ 各グループ 模造紙1枚
- ・ 問いへの解（アイデア）を他のグループに伝える
 - ・ 文字だけではなく
数字や絵などを使って

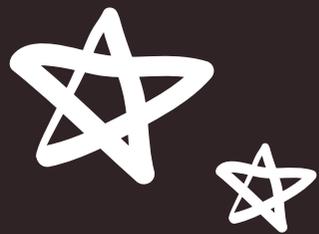
ワークのねらい

<体験>と
<ふりかえり>
を通じ

「学び」を
それぞれが考える
きっかけをつかむ



CHECK-IN



hello



グループで シェアしてください

10mins

A

今日
呼ばれたい
名前

B

今日
参加した
理由

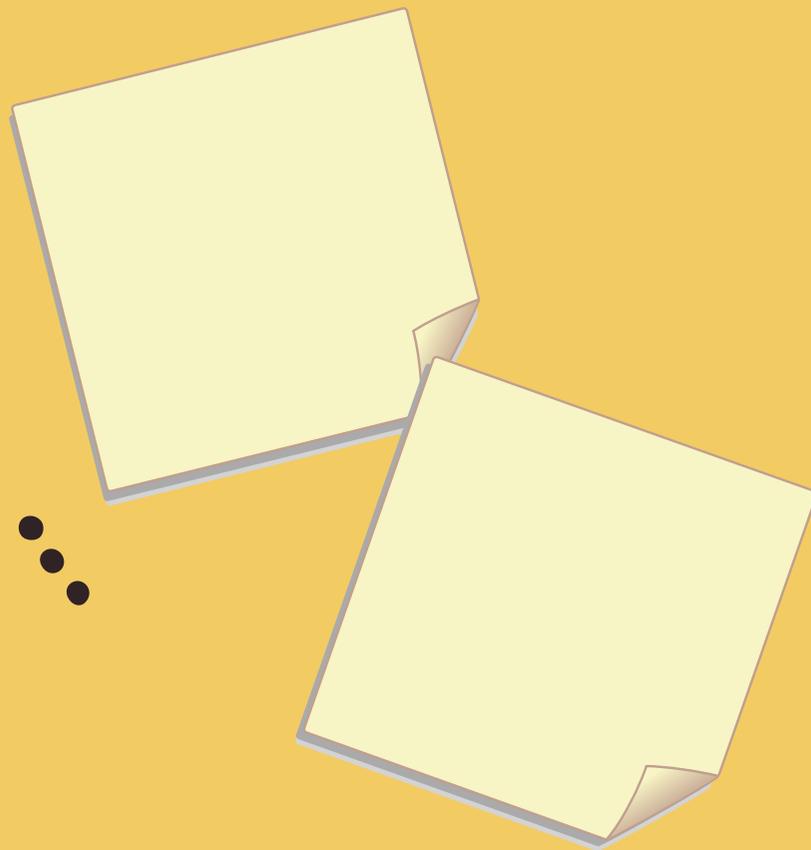
C

得意
好きなコト



松本のココが 好き&気になる

できるだけたくさん
書き出して
分類してみましよう





ワークのテーマ

松本の〇〇、

2030年

どうなってる？

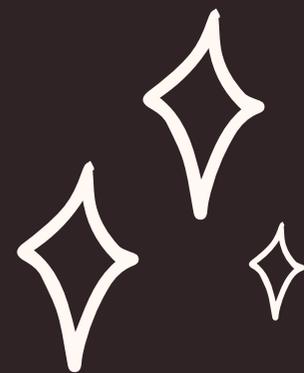
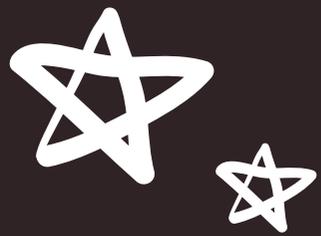
どうなってほしい？

今日

掘り下げたいネタを
ひとつ選びましょう



情報収集



とにかくたくさん
集めて、整理しましょう

ネタに関する
既存の知識

ネタに関する
他のメンバーの体験・
意見

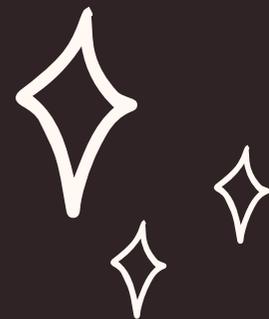
今日
掘り下げたいネタを
ひとつ選びましょう

ネタに関する
時事ニュース

ネタに関する
データ

20mins

仮説立て



2030年

どうなってる？

どうなってほしい？

集めた情報をもとに

未来予想図を

描いてみましょう



30mins

集めた
情報

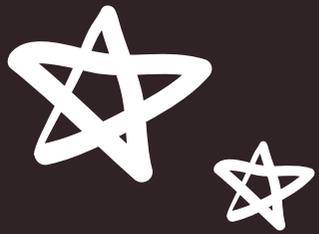


自分たちの
願い

だから、〇〇はXXになっているはず！
(今回の仮説)



プレゼン 準備



プレゼンのながれ

1. 発表時間 3分
2. 質疑応答・評価 2分
3. 講評 1分

プレゼンの評価規準

<内容>

1. 具体的でイメージが湧くものか
2. ただの願いだけではなく
調べたことが背景になっているか
3. ただの調べたことのまとめではなく
メンバーの願いが伝わったか

<パフォーマンス>

1. 時間内に収まっているか



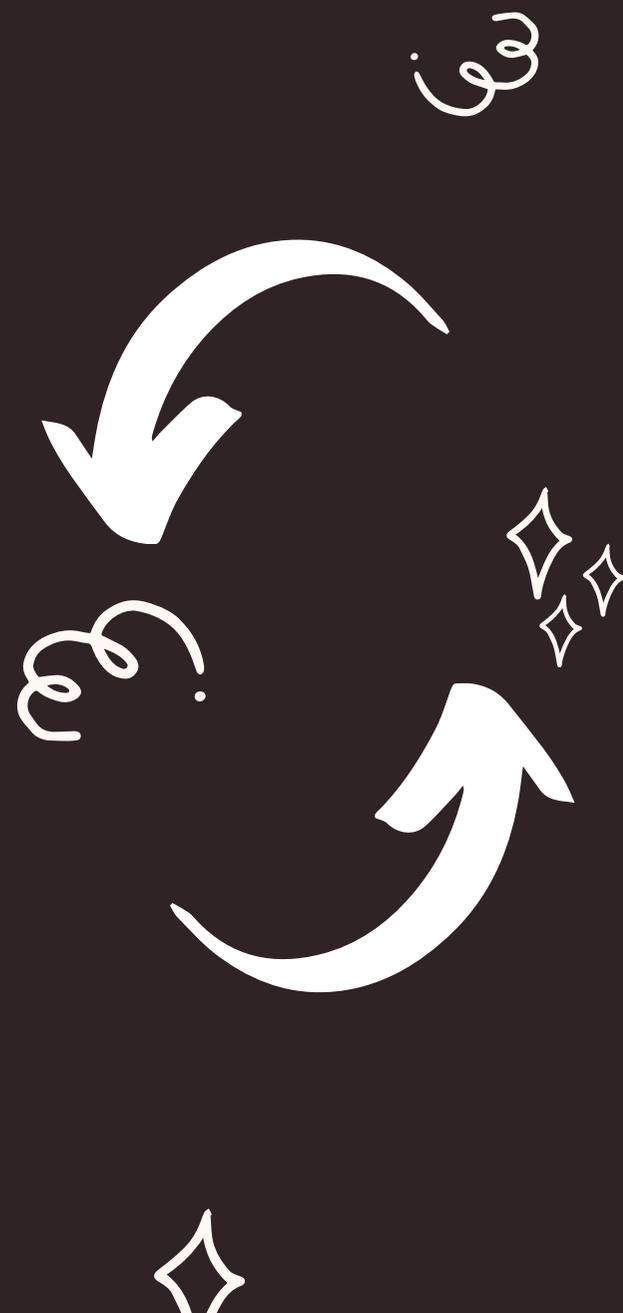
**LET'S
PRESENT
YOUR WORK!**

プレゼンのながれ

1. 発表時間 3分
2. 質疑応答・評価 2分
3. 講評 1分

休憩

ふりかえり



なぜ「学び」を考えるのか？



どんな人材を採用したいですか？



どのように社会・世界とかがかわるか



社会に開かれた
教育課程の実現

何を学ぶか

どのように学ぶか

めざすことのシフトチェンジにより なにが変わっていくのか



成果の
見取り方が
変わる



内容・目標
が変わる



やり方が
変わる

内容・目標が
変わる

学習指導要領改訂

新教科・科目

内容 + α

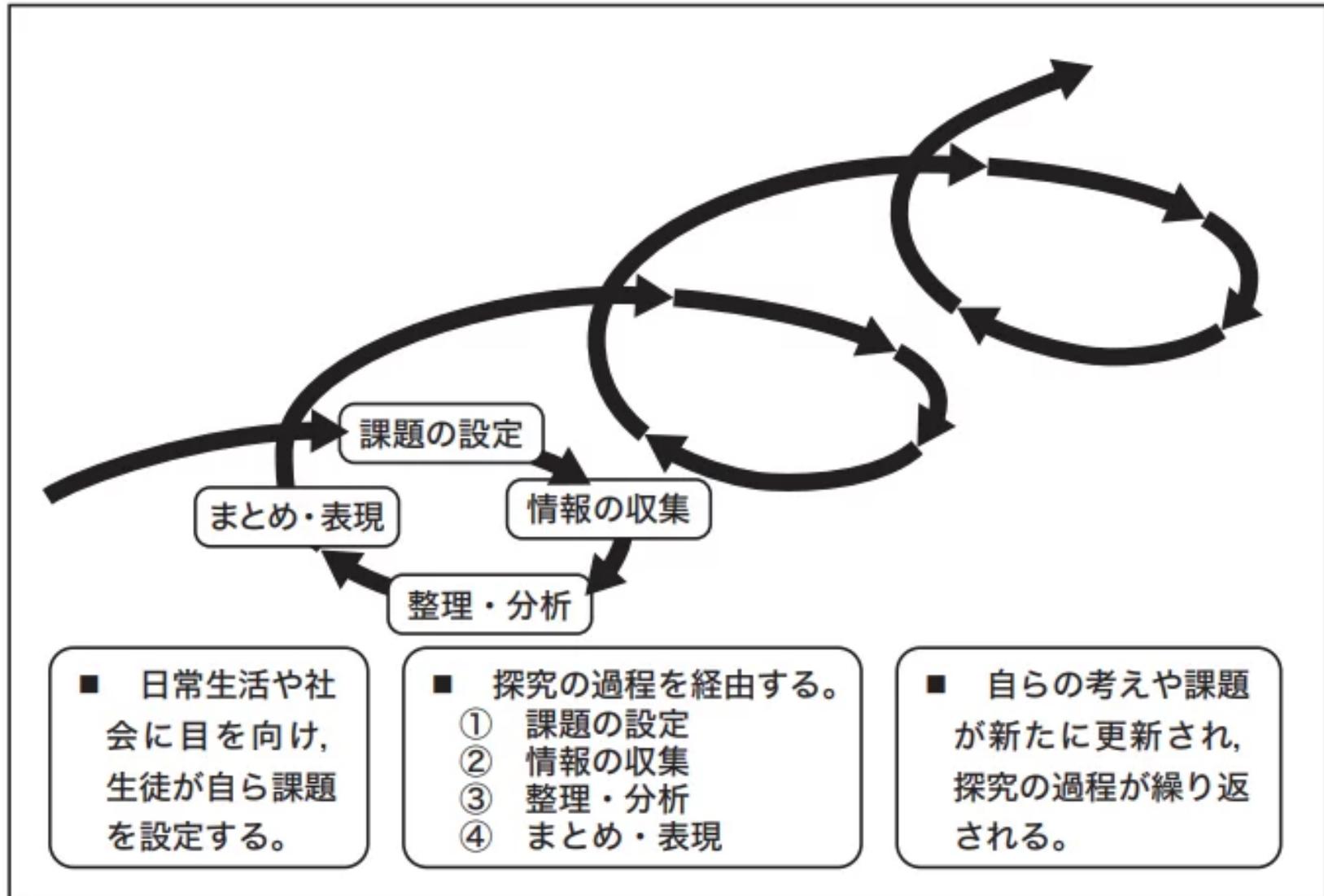
自分のよさや可能性を認識するとともに、
あらゆる他者を価値のある存在として尊重し、
多様な人々と協働しながら様々な社会的変化を乗り越え、
豊かな人生を切り拓き、
持続可能な社会の創り手となることができるようにする

(学習指導要領 前文)

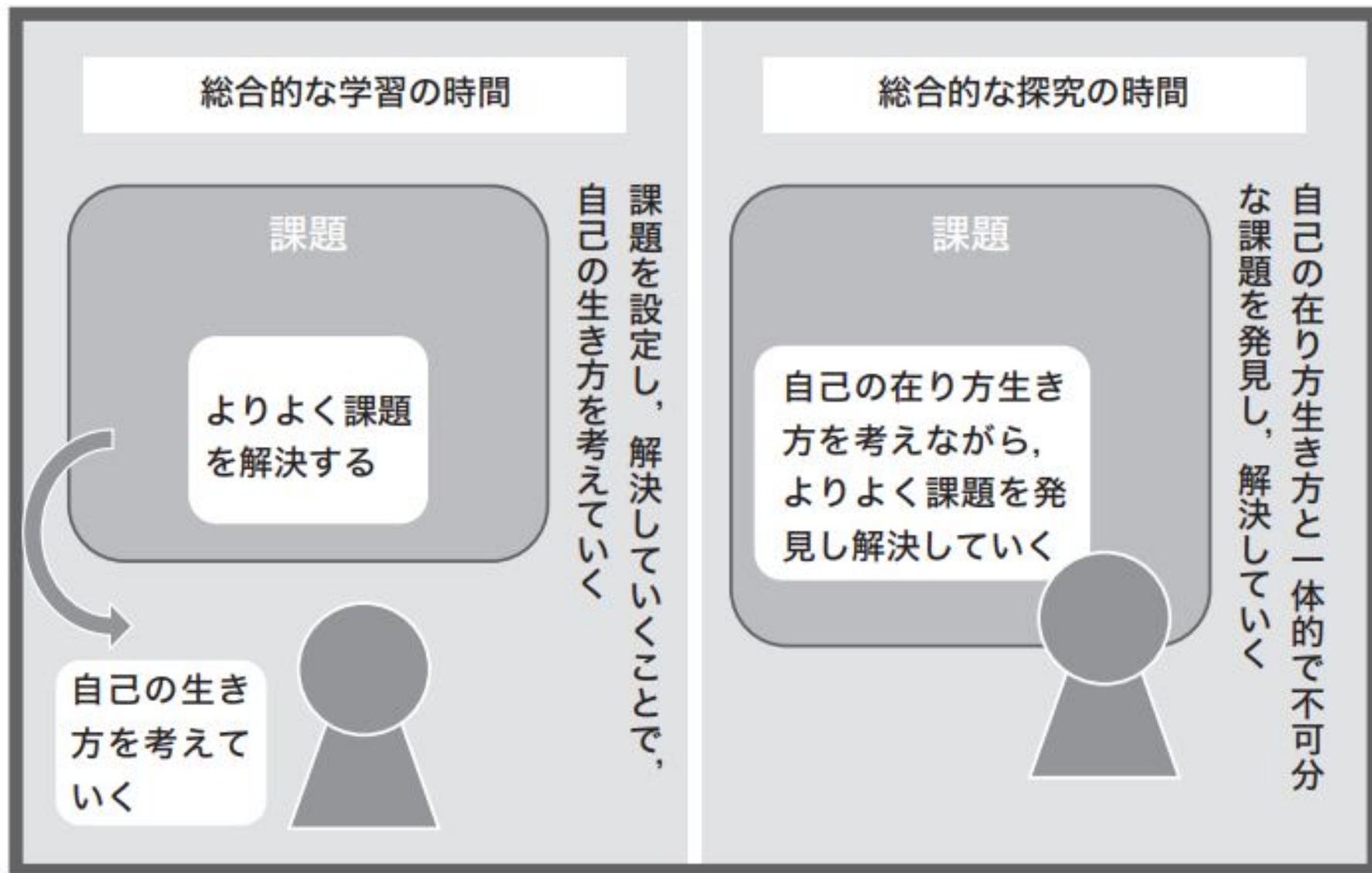
「学習」から「探究」へ



探究における生徒の学習の姿



課題と生徒との関係(イメージ)





ワークのテーマ

松本の〇〇、

2030年

どうなってる？

どうなってほしい？

成果の
見取り方が
変わる

大学入試改革

評価の観点

「高大接続改革」の必要性



● 国際化、情報化の急速な進展



社会構造も急速に、かつ大きく変革。

- 知識基盤社会のなかで、新たな価値を創造していく力を育てることが必要。
- 社会で自立的に活動していくために必要な「学力の3要素」をバランスよく育むことが必要。

【学力の3要素】

- ① 知識・技能の確実な習得
- ② (①を基にした)
思考力、判断力、表現力
- ③ 主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度

学力の3要素を
多面的・総合的に評価する

大学入学者選抜

高等学校教育・大学教育・大学入学者選抜の一体的改革

高大接続改革

学力の3要素を育成する

高等学校教育

高校までに培った力を
更に向上・発展させ、
社会に送り出すための

大学教育

やり方が
変わる

一人一台PC



プロジェクト型

アクティブ ラーニング

教師の役割が変わる



地域人材のかかわり方も 変わる



どのように社会・世界とかがかわるか

地域

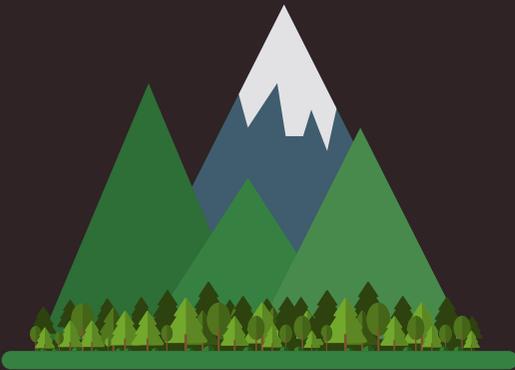
企業

社会に開かれた
教育課程の実現

何を学ぶか

どのように学ぶか

「学び」を考えることは
「社会」を考えること



質疑応答

お疲れさまでした！

